

平成22年度に建設工事で発生した事故事例（流出による事故）

事故概要:

河川内工事用道路の一部に使用する目的で、仮排水管（鋼管）3本を搬入し、河床部付近に仮置きしていたところ、降雨により急激に増水した河川水が鋼管内に侵入し、鋼管の内側に付着していた廃油が下流へ流出した。

事故原因:

過去に同鋼管を流水部で使用していた経緯から、油類が付着しているはずがないとの先入観から、鋼管の状況確認をしなかった

改善対策:

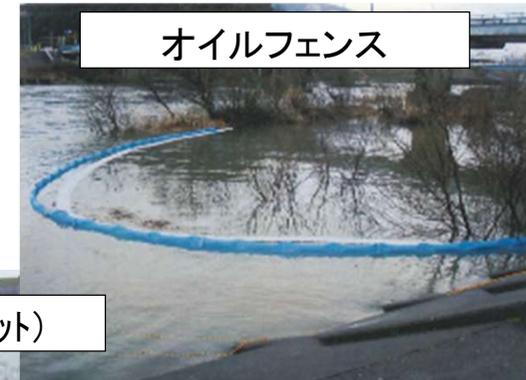
- ・流水部に使用する資材は使用前点検を徹底
- ・不測の事態に備え、流水部での工事はオイルマット、オイルフェンスを常備する



油が付着した鋼管



油除去(オイルマット)



オイルフェンス

分類: 仮設工、排水

被害状況: 油流出による直接的被害はなし

平成25年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落事故）

事故概要：

仮設排水パイプを取り外すためパイプに乗り、パイプから降りる際にパイプを吊っていたチェーンに接触したため、パイプが接続部から外れ、作業員が4m下へ転落した。

事故原因：

- ・安全帯を使用していなかった。
- ・安易に考えパイプに乗った。

改善対策：

- ・安全教育の徹底。
- ・仮設排水パイプは下方から支える構造とする。



分類：仮設工、排水

被害状況：約6週間の安静加療（左橈骨遠位端骨折、左膝挫傷、前胸部挫傷、右踵部挫傷）

令和2年度に建設工事で発生した事故事例（転倒事故）

【事故概要】

災害復旧工事において、被災者は、2列に並んだ径の異なる仮設管のそれぞれの延長計測中に、管上に登って移動したところ、足を滑らせ護岸側へ転倒し負傷した。

【事故原因】

- ・仮設排水管（φ600）の出来形測定の際、足元が不安定になるにもかかわらず、管の上に登り移動したこと。
- ・被災者は、通常の作業用の足元（長靴）で作業を行っていたが、本人の注意不足により足を滑らせた。

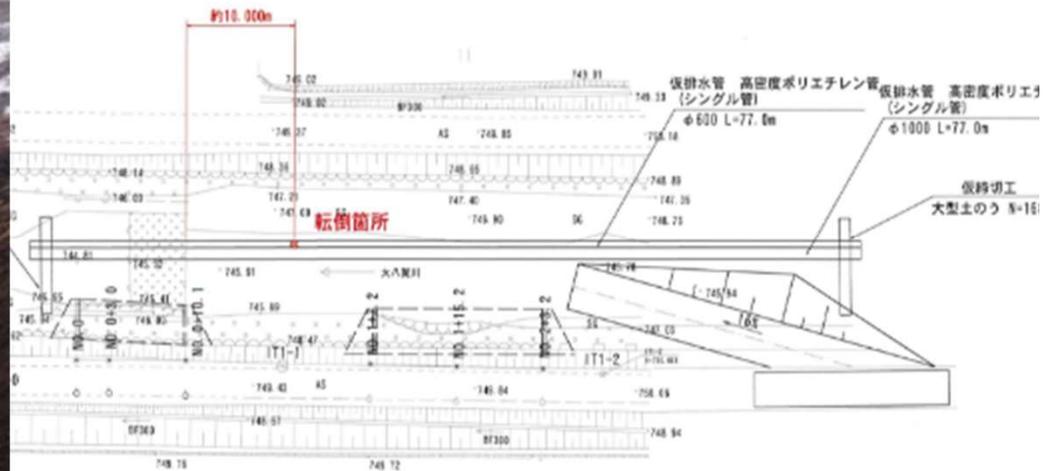
【改善対策】

- ・仮設パイプへ登らないよう立ち入り禁止措置を講じる。
- ・KY活動や休憩時間内のショートミーティングで、ヒヤリハット等の情報交換を行う等の安全訓練を実施。

事故現場状況写真



事故現場概略図



【分類】 仮設工、排水

【被害状況】 業者人身 1名 右上腕骨近位端不全骨折、右肩甲骨不全骨折
(2週間の安静と加療)

令和3年度に建設工事で発生した事故事例（火災事故）

【事故概要】

河川工事にて、水替えのため設置した仮設ポンプのキャブタイヤケーブルから出火し、大型土のうと分電盤と水中ポンプをつなぐ同ケーブルを損傷。

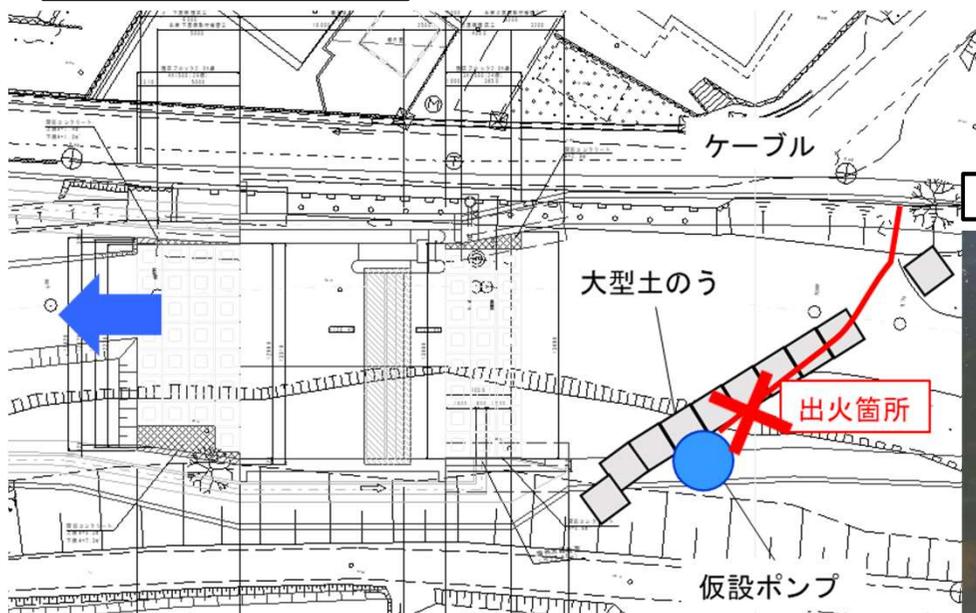
【事故原因】

- ・キャブタイヤケーブルの経年劣化にともなう断線。
- ・ケーブルジョイント部の緩みにより漏電。
- ・上記にかかる現場管理が不十分であった。

【改善対策】

- ・劣化したキャブタイヤケーブルの交換。
- ・キャブタイヤケーブルジョイント部の防水性の強化。
- ・キャブタイヤケーブルの点検表を作成し、点検を強化する。

事故現場平面図



損傷状況



点検表(対策)

キャブタイヤケーブル点検表

工事件名
会社名

点検者名

月度

器具番号	日付及び点検結果																															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
点検内容																																
キャブタイヤケーブルの表面に損傷はないか																																
ケーブルの引っ張り、ねじれはないか																																
ジョイント部分はビニールに覆われているか																																
ゴム表面に臭気はないか																																
ゴム表面が高温になっていないか																																

【分類】 仮設工 水替え

【被害状況】 業者物損 大型土のう・キャブタイヤケーブルの一部損傷

令和4年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落事故）

【事故概要】

排水ポンプの据替作業中、ポンプの配線を緩めようと、梯子(未固定)を登って左側に体を出して手を伸ばしたところ、バランスを崩し梯子ごと4m下へ転落し負傷した。

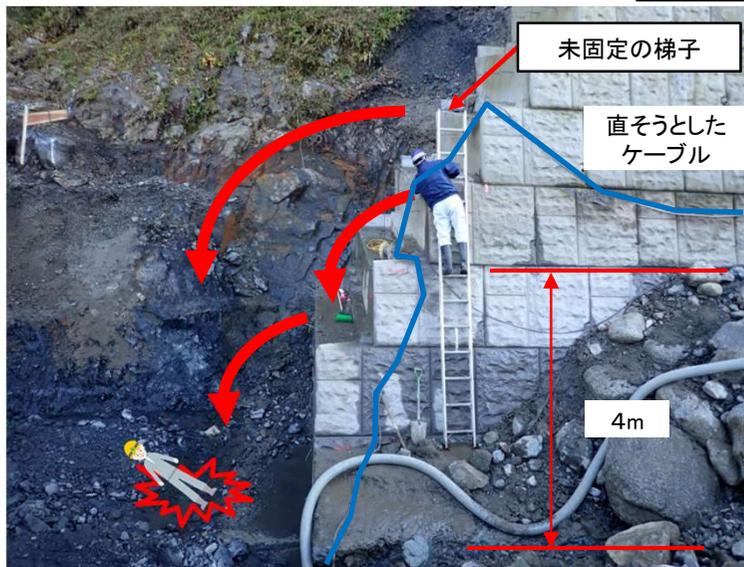
【事故原因】

主任技術者が梯子設置作業にあたって追加資材が必要となったため、作業員に対して、未固定のため使用しないようにと伝えたが、作業員はその指示を無視し梯子を使用した。

【改善対策】

- ・作業を進めるうえで、打ち合わせ外の作業が発生した場合は、作業を中断して打合せを行う。
- ・移動梯子の使用方法について周知徹底する。
- ・梯子が設置中や不備がある場合は、「使用不可」を明示する。
- ・原則梯子上での作業を禁止する。

事故現場状況



【分類】 仮設工 水替え

【被害状況】 業者人身 48歳 胸椎腰椎圧迫骨折